

# 教育総務部長目標（令和7年度組織目標）

## ● 教育総務部長 池田 淳（いけだ じゅん）



### ● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 4 質の高い教育をみんなに
- 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに
- 11 住み続けられるまちづくりを



### ● 教育総務部の仕事

教育総務部は、教育総務課、教育施設課、社会教育課、スポーツ振興課、文化財保護課、所沢図書館の6課で構成され、教育委員会所掌事務のうち、教育委員会の庶務、教育施設の整備、生涯学習・社会教育の推進、スポーツの振興、文化財の保護、図書館の運営などを主な仕事としています。

### ● 教育総務部の目標

教育委員会では、令和6年度からスタートした「第3次所沢市教育振興基本計画」に基づき、各事業を着実に進めます。教育総務部では、本計画の10の目標のうち、令和7年度は、安全・安心な学習環境の整備、歴史文化の継承、教育の質を高める環境の整備、生涯にわたり学び活躍できる環境の醸成をねらいとした以下の事業を重点事業と位置づけ、学校・家庭・地域と連携しながら取り組みます。

## ● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	屋内運動場空調設備設置事業	児童生徒の学習環境の向上、安心して教育に取り組める環境を整備するため、小中学校の屋内運動場に空調設備の設置を進めます。	児童生徒の学習環境の向上のため、小中学校の屋内運動場に空調設備の設置を進めるにあたり、令和7年度は、中学校7校の設計業務を実施します。	令和7年度は、中学校7校の設計業務を実施しました。引き続き、屋内運動場の空調設備の設置に向けて事業を進めます。
2	歴史的建造物整備活用事業	寿町にある国登録有形文化財「秋田家住宅」と敷地全体の整備と活用を図ります。「所沢のまちば」の歴史・文化を伝え、「ふるさと所沢」を愛する心を育てるとともに、地域の商業や観光の活性化にも寄与することを目指します。	令和7年度は、「所沢市寿町歴史的建造物整備活用基本方針」を踏まえ、「秋田家住宅」を整備活用するための取り組みを進めます。	「所沢市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」の制定を進めたほか、令和8年度に予定する実施設計業務に向けて、基本設計業務を実施しました。
3	家庭教育推進事業	子どもの健全育成と家庭教育の向上を図るため、各小中学校区に組織される運営委員会に交付金を交付して家庭教育学級を開設し、様々な学び機会を保護者等に提供します。	保護者が自ら企画し、継続的に学ぶ家庭教育学級について、より参加や運営がしやすいよう支援し、様々な学習機会の提供に努めます。	健康、防犯、人権、郷土学習、進路など様々なテーマで家庭教育学級が企画され、小中学校47校で延べ4,676人が参加しました。
4	図書資料収集・整理・保存事業	市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるという公共図書館の役割を果たすため、機能を十分に発揮できる種類と量の収集・整備を継続して進めます。また、所沢を中心とした地域のあらゆる分野にわたる郷土資料の遡及・網羅的な収集に努め、市民への資料提供を行います。	図書や逐次刊行物、電子書籍等の充実に努め、利用者サービスの向上を図ります。また、令和7年度においては、航空史研究者から寄贈を受けた航空資料を中心に、新たな「航空資料コーナー」を開設します。このコーナーを通じて「航空発祥の地・所沢」をより一層周知し、市民の教養と文化の発展を支えるよう努めます。	新鮮で調和のとれた蔵書構成とするため、図書等の計画的な収集を進め、電子書籍についても、新たに一般書752点・児童書100点を購入しました。また、11月8日より新たに開設した「航空資料コーナー」では、航空に関する戦前・戦中の図書や雑誌等の貴重な資料を含む、図書約2,400冊、和雑誌約1,200冊の資料を公開するとともに、航空機機型約270機の常設展示を開始しました。